

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【公開番号】特開 2019-198752 (P2019-198752A)

【公開日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-047

【出願番号】特願 2019-159300 (P2019-159300)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 31 日 (2020.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球の入球または通過が可能とされる始動口と、  
前記始動口への遊技球の入球または通過に基づいて当落判定を行う抽選手段と、  
前記当落判定の結果が当たりであることを条件に、遊技者に有利な特別遊技の実行が可能とされる特別遊技実行手段と、  
前記当落判定の結果に基づいて変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、  
前記変動パターン決定手段によって決定された変動パターンに基づいて主基板から送信された演出コマンドを受信すると該演出コマンドに基づいて実行される表示演出を決定する表示演出決定手段と、  
前記表示演出決定手段によって決定された前記表示演出を実行可能な表示演出実行手段と、  
前記表示演出決定手段の決定とは異なるタイミングで前記主基板から送信されたコマンドであって前記変動パターンを決定するために使用する前記演出コマンドとは異なるコマンドに基づいて刺激音演出を前記表示演出に追加して実行するか否かを決定する追加演出決定手段と、  
 を備え、  
前記表示演出に前記刺激音演出を追加して実行する旨が決定されたことにもとづいて、  
前記刺激音演出が実行されるようになっており、  
前記刺激音演出の音声可聴出力されていない状況であっても前記刺激音演出の態様が視覚を通じて認識可能である  
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 1 に記載の遊技機は、  
遊技球の入球または通過が可能とされる始動口と、

前記始動口への遊技球の入球または通過に基づいて当落判定を行う抽選手段と、  
前記当落判定の結果が当たりであることを条件に、遊技者に有利な特別遊技の実行が可能とされる特別遊技実行手段と、  
前記当落判定の結果に基づいて変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、  
前記変動パターン決定手段によって決定された変動パターンに基づいて主基板から送信された演出コマンドを受信すると該演出コマンドに基づいて実行される表示演出を決定する表示演出決定手段と、  
前記表示演出決定手段によって決定された前記表示演出を実行可能な表示演出実行手段と、  
前記表示演出決定手段の決定とは異なるタイミングで前記主基板から送信されたコマンドであって前記変動パターンを決定するために使用する前記演出コマンドとは異なるコマンドに基づいて刺激音演出を前記表示演出に追加して実行するか否かを決定する追加演出決定手段と、  
を備え、  
前記表示演出に前記刺激音演出を追加して実行する旨が決定されたことにもとづいて、前記刺激音演出が実行されるようになっており、  
前記刺激音演出の音声可聴出力されていない状況であっても前記刺激音演出の態様が視覚を通じて認識可能である  
ことを特徴とするものである。